

中央図書病歴室年間報告

(1981年1月～1981年12月)

カルテ等の収納状況 (表参照)

昭和56年中に病歴室に収納した入院病歴・外来病歴・レントゲン写真・脳波の件数は次のとおりである。

入院病歴 約 4,200 件

外来病歴 約 29,400 件

レ線写真 約 13,100 件

脳波 約 1,500 件

現在病歴室で当年分の入院病歴を保管しているのは、内科・外科・整形外科・泌尿器科の4科である。その他の科は、それぞれの要望に応じて収納保管している。

移転前までは、外来病歴を1年毎に新しく作り直していたが、医事課でエンボス・カードを導入したため、書き換えをせずに継続して使用するこ

とになった。そのため、外来病歴はボックス・ファイルに入れ、綴じないで保管することにした。現在は、患者が来院しなくなって6ヶ月以上過ぎた外来病歴を医事課から受け取って保管している。患者が再度来院した場合には、病歴室にある外来病歴を医事課に戻して継続使用している。昨年中に医事課に戻された外来病歴は1,702件である。

レ線写真は、各科の要望に応じて保管している。外来の保管スペースに余裕のある科では2～3年外来で保管しているが、1年間だけ外来に置いて、次の年から病歴室で保管している科もある。

脳波は検査後しばらく脳波室で保管されるが、使用済のものは病歴室で保管している。

収納スペースとしては、本館4階の病歴室(256.5 m²)の他に別棟に第2病歴室(105 m²)があり、

科別収納状況

| 科 | 入院病歴 | 外来病歴 | レントゲン写真 | 脳波 |
|------|-----------|-------------|-----------|----------------------|
| 内科 | S47年～S57年 | S45年～S56年6月 | S50年～S56年 | S50 3842 S57 9516 |
| 外科 | S46年～S57年 | S46年～S55年 | S46年～S55年 | |
| 脳外科 | S45年～S55年 | S45年～S55年 | S47年～S55年 | |
| 整形外科 | S41年～S57年 | S41年～S56年6月 | S44年～S50年 | |
| 眼科 | S48年～S56年 | S48年～S56年6月 | | |
| 小児科 | S32年～S56年 | S32年～S56年6月 | S32年～S56年 | |
| 耳鼻科 | S45年～S54年 | S45年～S56年6月 | S50年～S53年 | |
| 産婦人科 | S32年～S55年 | S32年～S52年 | S33年～S55年 | |
| 皮膚科 | S47年～S55年 | S47年～S56年6月 | S47年～S54年 | |
| 泌尿器科 | S55年～S57年 | S55年 | | |
| 神経科 | | S55年 | | |
| 麻酔科 | | S55年 | | |
| 歯科 | S48年～S53年 | S48年～S55年 | S48年～S53年 | |

(S57.7.5現在)

種類別貸出件数

| | | | |
|-------------|--------------|-------------|-------------------------|
| 入院病歴 1,774件 | 外来病歴 594件 | X-P 232件 | EEG + ECG 179件 |
|-------------|--------------|-------------|-------------------------|

使用目的別貸出件数

| | | | | |
|-------------|---------|---------|-------------|-------------|
| 医学研究 1,015件 | 医事 807件 | 診療 541件 | 再入院 271件 | その他 145件 |
|-------------|---------|---------|-------------|-------------|

5年以前の病歴や写真は第2病歴室に保管している。

病歴保管用のスペースは本館、第2病歴室共にまだ余裕があるが、レ線写真や脳波は移転後の患者増加によってかなり量が多くなってきているので、本館での5年保管は難しくなりそうである。第2病歴室もレ線写真用の冊数が少ないので、3~4年のうちにはスペースが無くなることが予想される。フィルムの保存年限を何年とするか、まだ決まっていないが、マイクロ化などの対策の検討が必要だと考える。

名簿類について

病歴の名簿などは、不十分ではあるが、次のようなものを作成している。

入院病歴については、入院月日順名簿（内科・外科）・50音順名簿（内科・外科・整形外科・泌尿器科・小児科・婦人科）・死亡退院名簿（病棟日誌より抜粋、昭和56年～）を作成している。普通、病歴室に必要とされる索引には患者氏名索引、疾病名索引、手術名（術式名）索引、主治医名索引などがあるが、当院の場合外来で台張が作成され、それが使用されることが多い。それらとの重複を避けて、必要なものを作って行きたい。

外来病歴については、病歴室では名簿作成はしていないが、医事課のコンピューターで1年間に来院した患者の50音順名簿を作成してもらって、それを使用することになっている。

来院しなくなった患者の外来病歴を医事課から収納する場合は、患者の一覧表を添えてもらって、収納時にチェックを行っている。

レ線写真や脳波は病歴室としての名簿は無いので、収納時のチェックは行っていない。現在は単に収納場所を提供しているだけの形である。

カルテ等の利用状況

昨年1年間でのカルテ等の貸出件数は2,779件で、内訳は図に示すとおりである。種類別利用では入院病歴が最も多く、目的別の利用は医学研究や医事（診断書作成が中心）が多くなっている。

問題点としては、長期間返却されない病歴や写真があることがあげられる。再入院の場合はやむをえないとしても、貸出しが長期になると他に利用する場合に支障が起きる。今までは貸出期限は決めていなかったが、一応の目安として貸出期限を決めることが必要だろう。

蔵書内容について

蔵書は単行本と雑誌（雑誌を製本したもの）に分けられる。

単行本は数が少なく、大部分がかなり古い本であるが、昨年は樋口氏からの寄附により、樋口文庫として「現代外科手術学大系」と「培検輯報」（第二十二輯まで）を購入することができた。看護部門やパラメディカル部門からの購入希望もあるが、予算の関係でまだ購入できないでいる。

雑誌は、現在和洋合わせて73誌を定期購入している（内訳は別記）。医学雑誌以外のものは、薬科4誌、看護科3誌、その他2誌となっている。

これらの雑誌は1年毎に製本しており、これが蔵書の大部分である。昨年は96冊を製本したが、1/3弱の雑誌が製本できずに残ってしまった。これは昨年から新設科用の雑誌が増えたことなどで予算が足りなくなったためである。昨年以前の雑誌にも未製本のものがあり、これらも徐々に製本しなければならない。

図書の利用状況

単行本が少ないので、雑誌が主に利用されている。昨年の貸出しは、無断帯出があるので実数は

出ないが、80件であった。貸出しよりもコピーの利用の方が多い。図書も貸出期限を決めていないので、長期貸出しとなってしまうことが多い。やはり、貸出期限を決める必要があるだろう。

おわりに

新病院への移転と同時に開設した図書病歴室も開設後満2年を経過した。当初3名だった人員が1名減り、現在は2名で病歴類と図書の整理を行っている。

未整理の入院病歴、未製本の雑誌、病歴や雑誌の無断持ち出し（夜間も出入りできるため）等々の問題も多い。

また、各科によって病歴やレ線写真の整理方法が異なる為、病歴室で整理する時も各科別となり、複雑になってしまうのも大きな問題である。病歴類の流れを統一できれば、整理し易くなるのではないかと思う。

新設部門であるためか、まだ病院全体の流れに乗っていないようなので、利用者側からの要望も取り入れて利用し易い病歴室にして行きたい。疾患分類、癌登録も含めて疾患統計などもやらなければならない。

雑誌一覽

医学一般

| | | |
|----------------------|-------|-------------------|
| 医学のあゆみ | 昭和47年 | Vol. 80, No. 1~ |
| 医学中央雑誌 | 昭和26年 | Vol. 95~ |
| 日本医事新報 | 昭和37年 | No. 1968~ |
| 日本臨床 | 昭和29年 | Vol. 12, No. 4~ |
| 臨床科学 | 昭和40年 | Vol. 1, No. 1~ |
| 救急医学（急患室で保管） | 昭和56年 | Vol. 5, No. 1~ |
| J.A.M.A. | 1967年 | Vol. 200, No. 10~ |
| Klin. Wochenschr | 1930年 | Vol. 9, No. 1~ |
| Tohoku. J. exp. Med. | 1981年 | Vol. 133, No. 1~ |
| Cancer | 1981年 | Vol. 47, No. 1~ |
| Index Medicus | 1981年 | Vol. 22, No. 1~ |

内科

| | | |
|--------------------|-------|------------------|
| Circulation | 1981年 | Vol. 63, No. 1~ |
| Arch. Intern. Med. | 1968年 | Vol. 122, No. 1~ |
| Psychosom. Med. | 1968年 | Vol. 30, No. 1~ |
| Gastroenterology | 1968年 | Vol. 54, No. 1~ |

| | | |
|-------------|-------|-----------------|
| J.C.E. & M. | 1968年 | Vol. 28, No. 7~ |
| * 日本内科学会雑誌 | 昭和4年 | Vol. 17, No. 4~ |

小児科

| | | |
|--------------------|-------|------------------|
| 小児科臨床 | 昭和47年 | Vol. 25, No. 4~ |
| Pediatrics | 1968年 | Vol. 42, No. 1~ |
| Am. J. Dis. Child. | 1968年 | Vol. 116, No. 1~ |

外科

| | | |
|--------------|-------|------------------|
| 外科 | 昭和22年 | Vol. 9, No. 5~ |
| 臨床外科 | 昭和23年 | Vol. 3, No. 4~ |
| 手術 | 昭和23年 | Vol. 2, No. 3~ |
| 癌の臨床 | 昭和37年 | Vol. 8, No. 1~ |
| Surgery | 1968年 | Vol. 63, No. 1~ |
| Am. J. Surg. | 1968年 | Vol. 116, No. 1~ |
| J. Trauma | 1981年 | Vol. 21, No. 1~ |

脳外科

| | | |
|---------------|-------|-----------------|
| 脳と神経 | 昭和49年 | Vol. 26, No. 4~ |
| 神経研究の進歩 | 昭和49年 | Vol. 18, No. 1~ |
| J. Neurosurg. | 1969年 | Vol. 30~ |
| Neurology | 1973年 | Vol. 23, No. 7~ |

整形外科

| | | |
|---------------------|-------|------------------|
| 臨床整形外科 | 昭和44年 | Vol. 4, No. 4~ |
| 整形災害外科 | 昭和44年 | Vol. 12, No. 6~ |
| 整形外科 | 昭和44年 | Vol. 20, No. 6~ |
| J. Bone Joint Surg. | 1968年 | Vol. 50~ |
| Z. Orthop. | 1968年 | Vol. 104, No. 1~ |

皮膚科

| | | |
|------------------------|-------|-----------------|
| 皮膚科の臨床 | 昭和43年 | Vol. 10, No. 5~ |
| 形成外科 | 昭和47年 | Vol. 15, No. 3~ |
| 臨床皮膚科 | 昭和43年 | Vol. 22, No. 1~ |
| Plast. Reconstr. Surg. | 1972年 | Vol. 49, No. 1~ |
| Arch. Dermatol. | 1968年 | Vol. 68, No. 1~ |
| J. Invest. Dermatol. | 1968年 | No. 50, No. 1~ |

産婦人科

| | | |
|---------------------------|-------|-----------------|
| 産婦人科の実際 | 昭和47年 | Vol. 21, No. 4~ |
| Am. J. Obstet. Gynecol. | 1969年 | Vol. 103~ |
| Geburtsh. U. Frauenheilk. | 1969年 | Vol. 29, No. 1~ |

眼科

| | | |
|------|-------|---------|
| 臨床眼科 | 昭和24年 | Vol. 3~ |
|------|-------|---------|

Am. J. Ophthalmol. 1968年 Vol. 66, No. 1~
 Arch. Ophthalmol. 1968年 Vol. 80, No. 1~

J. Histochem. Cytochem. 1981年 Vol. 29, No. 1~
 Stain Technol. 1981年 Vol. 56, No. 1~

歯 科

歯界展望 昭和23年 Vol. 5
 Oral Surg. 1968年 Vol. 26, No. 1~
 J.A.D.A. 1968年 Vol. 77, No. 1~

薬 局

月刊薬事 昭和46年 Vol. 13, No. 1~
 薬学雑誌 昭和10年 Vol. 55, No. 1~
 Am. J. Hosp. Pharm. 1974年 Vol. 31, No. 1~
 Drug Intell. Clin. Pharm. 1974年 Vol. 8, No. 1~

耳 鼻 科

Arch. Otolaryngol. 1968年 Vol. 88, No. 1~
 The Laryngoscope 1969年 Vol. 79, No. 1~

看 護 科

看護 昭和41年 Vol. 18, No. 1~
 看護学雑誌 昭和41年 Vol. 30, No. 1~
 看護研究 昭和44年 Vol. 2, No. 1~

放射線科

A.J.R. 1968年 Vol. 103, No. 1~
 Radiology 1968年 Vol. 91, No. 1~

麻 酔 科

Pain 1981年 Vol. 10, No. 1~
 Anesthesiology 1981年 Vol. 54, No. 1~

栄 養 室

臨床栄養 昭和37年 Vol. 20, No. 1~

泌尿器科

J. Urol. 1982年 Vol. 127, No. 1~
 (1981年中は Invest. Urol.)
 Urology 1981年 Vol. 18, No. 1~

医療相談室

Social Work in Health Care 1981年 Vol. 7, No. 1~

精神・神経科

臨床精神医学 昭和56年 Vol. 10, No. 1~
 Biol. Psychiat. 1981年 Vol. 16, No. 1~

そ の 他

病院 昭和24年 Vol. 1, No. 1~
 * 日本病院会雑誌 昭和50年 No. 1~
 * 全国自治体病院協議会雑誌 昭和43年 Vol. 7, No. 27~

病 理 科

Arch. Pathol. Lab. Med. 1981年 Vol. 105, No. 1~

* 印は病歴室で定期購入している雑誌ではないが病歴室で保管しているもの。



混合感染⁺のfirst choiceに。

マーキシン^{*} 注射用 要指
 日抗基 注射用セフォキシチンナトリウム 略名: CFX
Merxin^{*} CFX

* 効能・効果、用法・用量、使用上の注意等は製品添付文書等をご参照下さい。
 * 菌数性能(パワテラリス)と対象菌数による混合感染

薬価基準収載
 * 商標登録出願中

提携 米国メルク社
 ニュージャーシー州ローウェイ



輸入 日本メルク萬有株式会社
 東京都中央区日本橋3-9-2
 TEL: 03(271)6241



販売 萬有製薬株式会社
 東京都中央区日本橋本町2-7-8
 TEL: 03(270)7551

9-82MF1-82-J-255J